

見えにくい、見えないこと お困りの方へのパンフレット「つばさ」



このパンフレットは、そのような方が適切な指導や訓練を受けられるように、兵庫県下の施設や団体を紹介する目的で作成しました。

本が読みにくい、まぶしくて見にくい、仕事を続けるのが難しい、気持ちが落ち込むなど、どんなことでも、まず下記までご連絡下さい。ご相談内容に応じて適切なロービジョンクリニック、施設、団体を紹介します。

神戸アイライト協会

TEL 078-221-6019

FAX 078-221-6029

E-mail kela2009eyelight@ac.auone-net.jp

(電話は火曜日～土曜日、9:30～16:30にお願いします)

発行：兵庫県眼科医会、兵庫県視覚障害リハビリテーションを考える会

眼科の先生へ

このパンフレットは視覚障害でお悩みの方が、悩みに応じた次のステップを踏み出せるよう作成されました。

パンフレット内にはどんなことでも、まず相談できる施設をひとつ紹介し、さらに兵庫県下の主要な視覚障害関連施設、団体の情報を掲載しています。

- ◆両眼とも視力が0.4以下の方
 - ◆視野が正常のおよそ半分以下になった方
- で大幅な回復の見込みがない方

にお渡し下さい。

「見にくいことで困っている時に利用して下さい」とお伝え下さい。

この頁は切り取って
から手渡して下さい

解 説

SmartSight™ はアメリカ眼科学会 (AAO) が開発した視覚障害リハビリテーション (視覚リハ) に関する情報で患者向けと眼科医向けがあります。

患者向けのリーフレットには視覚障害者の生活に役立つヒントと、視覚リハ関連施設が紹介されています。眼科医向けリーフレットには、それぞれの眼科医がどこ迄ロービジョンケアを行うかによって3つのレベルがあり、レベル1は全ての眼科医にロービジョン患者への認識を求めるもので、患者向けのリーフレットが貼付されています。このパンフレット「つばさ」は眼科医向けのリーフレット、レベル1と患者向けのリーフレットを合体させた独自のものです。

表紙に示した条件は概ねロービジョンケアが必要となり始めるレベルです。患者さんがケアを必要とされているかの判断は難しいと思いますが、ロービジョンケアが早期に始められるよう、また将来、必要な場合の情報として活用して頂くために、患者さんとの信頼関係があれば、できるだけ多くの該当者に配布して下さい。

この頁は切り取って
から手渡して下さい

ロービジョンクリニック

県下でルーペやサングラスなどの選定、訓練などを行っている眼科を兵庫県眼科医会のホームページの「兵庫県ロービジョンマップ」にまとめて掲載していますので、参考にして下さい。

神戸視力障害センター (078-923-4670)

歩行、音声パソコンやタブレット端末、拡大鏡や拡大読書器などの操作、家事や趣味など、一人一人の見え方や生活シーンに合わせた訓練と手に職をつけたい方のためのあん摩、はり、きゅうの職業訓練を実施する総合支援法に基づく施設です。お気軽にご相談ください。

兵庫県立視覚特別支援学校 (078-751-3291) 神戸市立盲学校 (078-360-1133)

見えにくい、見えないために学習が困難な方のための学校です。幼稚部、小学部、中学部、高等部があります。針灸、あんまの国家資格をめざす職業教育も行っています。なお入学金、授業料は必要ありません。教育相談室では、乳幼児から高齢の方まで、広く相談をお受けしています。

日本網膜色素変性症協会 兵庫県支部 (支部長 野村明紀 (090)3274-4901)

網膜色素変性症の治療法の確立と、患者お一人お一人のQOL (生活の質) の向上を目指して設立された団体で、各種講演会、機器展示会、親睦のためのイベントなどを開催しています。全国組織の団体である通称 JRPS の兵庫県支部です。

神戸アイライト協会

見えにくい (見えない) ことによるお困り事についての相談を専門スタッフがお聴きします。ロービジョンルームでは、いろいろな用具や多くの機器を展示紹介しています。公的サービス・団体の情報提供をはじめ、白杖歩行、音声パソコン、年金、就労等の相談をお聴きしています。他にもイベントの開催、通所施設の運営等を神戸市中央区で行っている特定非営利活動法人です。

きんきビジョンサポート (KVS)

見えにくい・見えない当事者と家族、眼科、リハビリ・補助具等の従事者による NPO です。この多彩なスタッフがさまざまな情報や出会いとふれあいの場を提供します。各種講座と誰でも OK のサロン、30・40代女性や中高年、勤労者などの会を主催し、見えにくさゆえの悲鳴をしっかりと受けとめ、笑顔を取り戻して頂きます。